



スギゴケ

苔



品名	品番	規格	価格
スナゴケ 砂苔	GG-002	0.9平米入	¥15,000

特長 エゾスナゴケ
 茎の長さは、1~3cm
 直射日光が当たるような場所での適応性に優れ、良く育ちます。
 その剛健さから、苔の生息環境としては厳しいと言われる屋上での緑化素材として利用されています。
 日陰で育ったものは緑色が濃くなり、日当たりの良い場所で育ったものは、明るい黄緑色をしており乾燥に強く丈夫です。



品名	品番	品番	価格
スギゴケ 杉苔	GG-001	0.9平米入	¥10,000

特長 石組とも良く合い、苔庭で主要の苔です。
 庭園材として最も生産量が多く入手しやすい苔です。ウマスギゴケと、オオスギゴケがありますが、ここでは、双方をスギゴケとして扱います。
 茎は5cm~20cmになり針のように硬く、枝分かれはしません。



品名	品番	品番	価格
ハイゴケ 這苔	GG-003	0.9平米入	¥13,000

特長 日当たり地の湿った地上、岩上などに群落をつくります。
 茎は横に這い、長さ10cm内外、ほぼ規則的に羽状に枝を伸ばします。
 表土に置いただけでは定着しないので、植え付け後は、目土をかけて安定させます。
 苔玉素材として最も良く使われている苔です。



品名	品番	規格	価格
コツボゴケ 小壺苔	GG-006	0.9平米入	¥15,000

特長 低地から山地の半日陰地の湿った地上や腐木上、岩上に群生します。
 横に這う茎と、立つ茎の両方を持ちます。
 植え付けは、湿度の安定した日陰か半日陰地がよい。
 水のやり過ぎの心配がないので、育てやすい苔です。
 苔庭に広く利用され、日陰地でも、葉色は明るい黄緑色です。



品名	品番	規格	価格
アラハシラゴケ 粗葉白髪苔	GG-007	—	時価

特長 「ホソバオキナゴケ」と共に、山苔と呼ばれている。湿度の安定した半日陰地の、大木(杉や檜)の根元、岩上、腐木上などに群生する。植え付け当初は、充分に水を与え密生を始めた後徐々に投げる。
 水のやり過ぎは、丈が伸びて生育密度もまばらとなり軟弱になる為、半日陰地において自然の降雨で育つようにする。
 露地植えの際は、小さく分けた苔を1~2cm程の間隔をあけて並べるように植えていく。小さな塊は半球状に生育し、やがて横に広がりが大なる大きなマットを形成していく。葉は少し艶があり密で、長さは5mm~10mm程度、葉先は少し縮れ細く尖っている。
 葉先の向きに方向性があり揃っている「ホソバオキナゴケ」に対し、「アラハシラゴケ」は、方向性が無いのが特徴である。



品名	品番	規格	価格
シノブゴケ 忍苔	GG-004	—	時価

特長 茎は長く地面を這い、山地の岩や地上に大きな群落をつくります。
 羽状に枝わかれをし、繊細なレースのようにみえる優美な苔です。
 流水や多孔質な岩にも定着しやすく、苔庭、盆栽、苔玉、テラリウム等、用途の広い素材です。
 ここでは、シノブゴケ科の数種類(オオシノブゴケ・ヤマシノブゴケ等)をシノブゴケとして扱います。
 用土は畑土と川砂に樹皮培養土か腐葉土を混ぜて使い、土の上にシノブゴケのマットを押しつけて、半分隠れるくらいに目土を掛けます。



品名	品番	規格	価格
ヒノキゴケ 檜苔	GG-009	—	時価

特長 山地の林の腐植土上、沢の斜面のような湿度の高い所に群落をつくります。
 安定した環境下で、長い時間をかけて大きく育った観株は、乾燥や日照などの小さな変化にもなかなか適応できないようで、多くの場合、植え付けてからまもなくして葉先から変色をおこしますが、その後、乾燥させないように水やりを続けてください。
 ヒノキゴケの植え付けは、観株を大きく育てるのではなく、観株から新しい芽を育て、環境に適応できるように育てます。
 茎は、長さ5~10cm、丈の変化が少なく、過湿による根腐れも起こさない為、管理はスギゴケよりも容易です。